

欧米文化学科

科目 Pick Up



異文化理解

異文化間の交流・衝突の事例を学び、留学生との文化交流を体験する



異文化交流や異文化間の衝突に関する事例から、それらが互いの文化に与える影響を考えます。また、留学生との交流を通して、文化の多様性や異文化交流の意義を体験的に学びます。



グローバル世界の歴史

グローバル化と日常生活の関係を歴史を踏まえて学び、現代社会を考える



世界のグローバル化が私たちの暮らしに与える影響について、人やモノ、資本や情報が地球規模で行き交うようになった歴史を学ぶことで、現代社会の問題を広い視野で考える力を身につけます。



ドイツ語圏文化

科学と宗教からドイツ文化を探る



宗教と科学がまだ密接につながっていた16・17世紀のドイツ文化に焦点を当てます。その時代に宗教改革や科学革命を起こしたドイツ語圏文化の魅力と、その社会的・歴史的な背景を考えます。



ツーリズムと文化形成

東南アジアや南米、日本での事例から観光が及ぼす文化の形成・影響を考える



現代の重要な産業であり、人類が古来行ってきた「移動」にも結びつく観光(ツーリズム)を研究対象とします。授業では東南アジアや南米、日本での事例から、観光を通して現代の文化を考えます。



芸術と文化(舞台芸術)

ヨーロッパとアメリカの演劇史から文化・社会と表現との関係を考える



欧米の演劇史を、古代ギリシャから21世紀に至るまで振り返ります。授業では舞台映像も取り入れ、演劇史を通して各時代の美の基準や文化・社会的背景と、表現活動との関係を考えます。



Academic Debate

言語を通して異文化と社会に関わる力を高める



英語で自分の意見を伝えることはもちろん、効果的な議論や反論のためのディベート・スキルを身につけます。社会において、自身の考えや見解を伝え、意見交換の重要性も理解します。

学びの実感

レポートの数をこなすことで表現力と内容の完成度が着実に向上

次から次に研究テーマが湧いてくる関口さんには学科の個人研究制度がぴったり。レポートを作成するたびに、文章表現の精度だけでなく、論理性や説得力が着実に高まり、研究内容もどんどん深化してきました。

欧米文化学科
氏家 理恵 教授



自分の研究内容を人に伝える言葉で表現できる喜び

ゼミでも個人研究でもアメリカの映画と社会との関係について分析考察しています。自分の意見を文章化するのは難しいですが、好きなことを研究対象にできるのはうれしいですね。この勢いで卒業論文も書き上げたいです。

欧米文化学科 2020年3月卒業
埼玉県 県立滑川総合高等学校 出身
関口 健太